

インフルエンザ流行情報(第1報)

本県における平成24年第1週(1月2日~8日)のインフルエンザ流行指数が流行開始の指標である1.0を超え1.03となり、インフルエンザ流行が始まったと考えられますので御報告いたします。

流行開始指標(1.0)を超えている保健所は、鉾田保健所管内2.60、常陸大宮保健所管内1.75、古河保健所管内1.63、竜ヶ崎保健所管内1.57、常総保健所管内1.25、です。

全国の流行指数は3.76で、岐阜県が16.6、愛知県16.22、三重県15.17、香川県9.35、滋賀県8.85の順となっており、本県は43番目です。

今後、県内においてインフルエンザの流行が予測されますので、県民の皆様に対し、「手洗い・うがいの励行」「咳エチケットの実践」等インフルエンザの予防を、呼びかけていくこととしています。

なお、今シーズンの全国におけるインフルエンザウイルス検出状況は、2011年第47週~51週の5週間では、A香港型が多く、B型も報告されています。本県における検出状況はA香港型が約79%、B型が約21%となっています。

《各保健所管内のインフルエンザ流行状況》

保健所	定点数	調査期間: H24. 1. 2~H24. 1. 8(第1週)		
		患者数	流行指数	注意報・警報の発生状況
水戸	17	6	0.35	—
ひたちなか	8	5	0.63	—
常陸大宮	8	14	1.75	—
日立	11	9	0.82	—
鉾田	5	13	2.60	—
潮来	8	4	0.50	—
竜ヶ崎	14	22	1.57	—
土浦	13	11	0.85	—
つくば	10	9	0.90	—
筑西	10	7	0.70	—
常総	8	10	1.25	—
古河	8	13	1.63	—
県全体	120	123	1.03	—

※地域注意報の発令基準は《備考》欄を参照ください。

《備考》

インフルエンザの流行に関する警報・注意報について

① 県では、県内のインフルエンザ流行状況を把握するため、延べ120医療機関(小児科75、内科45)に1週間単位で患者数の報告を求めており、各保健所毎に以下によりインフルエンザ流行指数を算出します。

※患者の報告数は、各医療機関でインフルエンザと診断されたものであって、PCR検査をすべて実施し確認したものではありません。

$$\text{インフルエンザ 流行指数} = \frac{\text{インフルエンザ 定点において1週間の間にインフルエンザと診断した患者数}}{\text{インフルエンザ 定点数}}$$

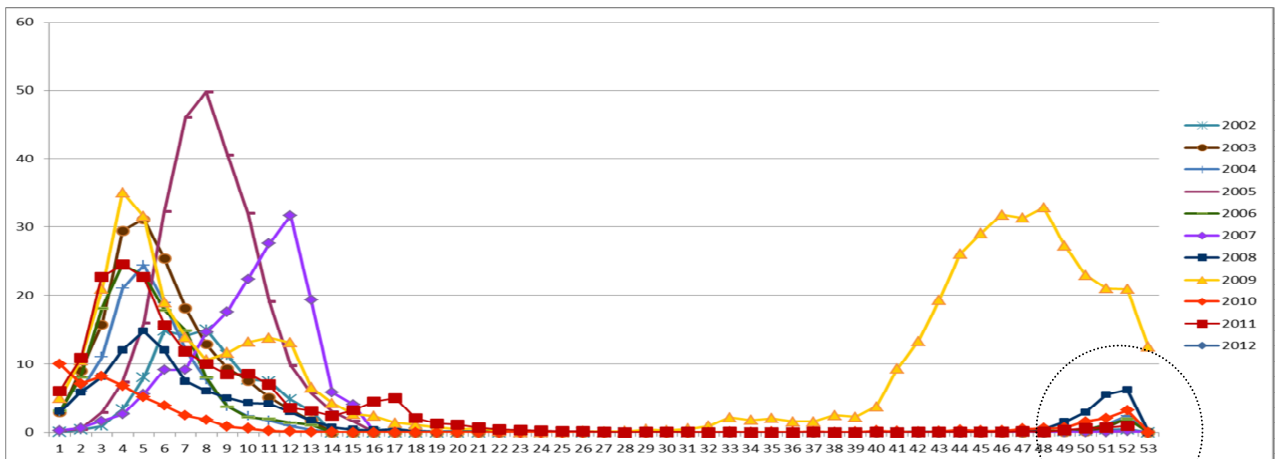
② 流行指数が、**基準値(注意報：1.0 警報：3.0)**を超えた保健所区域には「地域注意報」又は「地域警報」を発令します。

また、県全体において流行指数が基準値を超えた場合には、「県全域注意報」又は「県全域警報」を発令します。

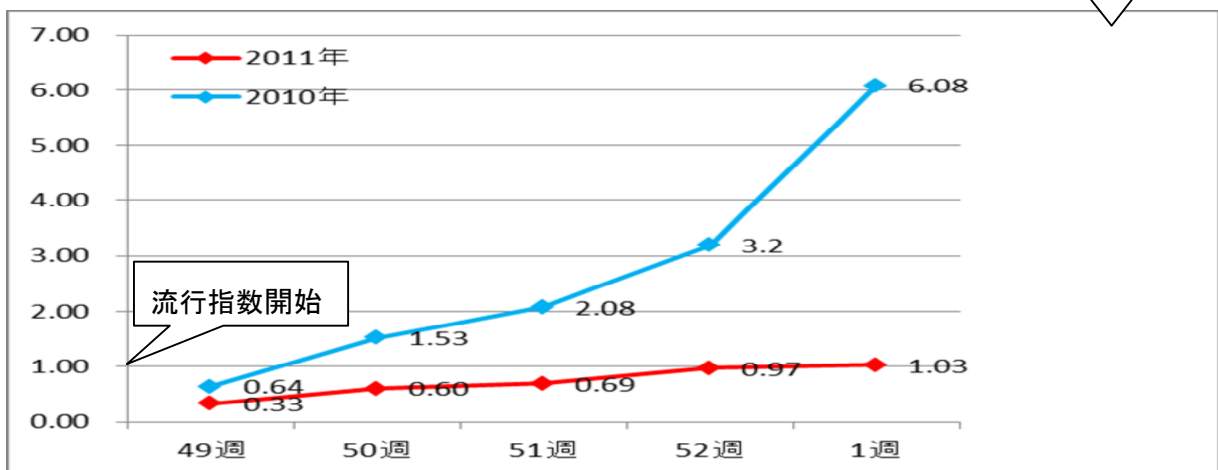
注意報：流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを、流行発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性があることを示します。

警報：大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

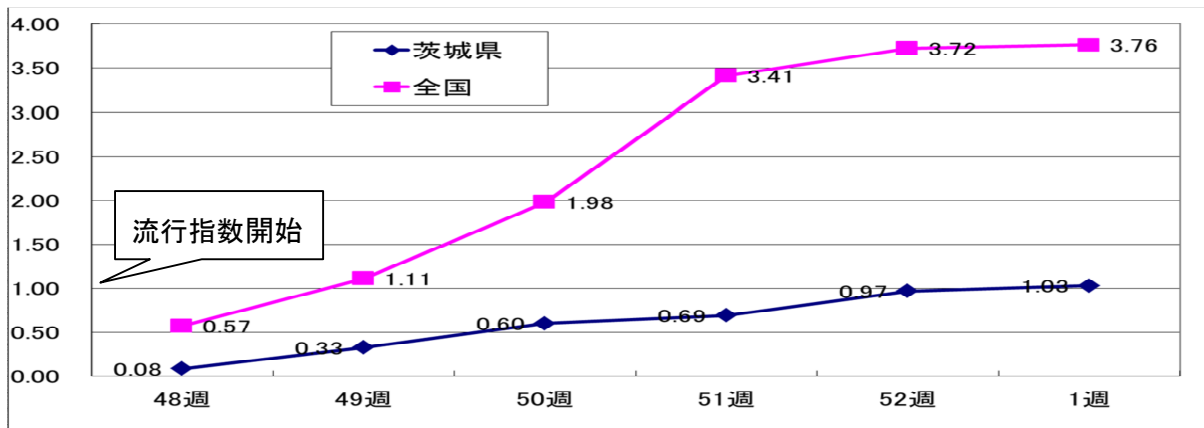
《参考資料1》過去10年間のインフルエンザ流行指数(2002年～2012年)



《参考資料2》茨城県の昨年シーズンと今年シーズンの流行指数比較



《参考資料3》全国と茨城県の今シーズンの流行指数比較



《参考資料4》インフルエンザ流行の開始時期（過去5年間）

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
流行開始時期	第51週	第3週	第49週	第33週	第50週
流行指数	1.04	1.62	1.52	2.13	1.53

《参考資料5》2012年第1週（1月2日～8日）のインフルエンザ流行マップ

